

# 美味しく出来たよ! メバ焼き!

中里小学校5年生が  
メバ焼き! 体験学習

中里小学校の5年生が総合学習の一環として、11月30日(木)小学校の調理実習室で「メバ焼き!」の体験学習を行いました。体験学習は、メバ焼き!を考案した中里高校SBP(ソーシャルビジネスプロジェクト)同好会のメンバー4人が協力しました。

まず高校生が手本を披露。きれいなメバ焼き!に児童からはおどろきの声が聞こえてきました。その後、児童らは高校生の指導のもと、一つ一つ作業を進めていきました。初めは、形がくずれたり、焦げたりしましたが、慣れてくるときれいなメバ焼き!ができました。



メバ焼き!作りを手伝った高校生らは「おいしくできてよかった。わたしたちが考えたメバ焼き!を知ってもらい、たくさんの人に食べて欲しくてお手伝いしました」と笑顔で話していました。児童らは、出来たて熱々のメバ焼き!を頬張りながら「自分で作ったメバ焼き!はすごく美味しい。難しいと思ったけど上手にできてよかった」と満足そうに話していました。

## 美味しい漬物を伝授

駅舎漬物まつり

漬物が美味しくなる季節、津鉄応援直売会と金木地区生活研究グループ連絡協議会が、12月3日(日)、津軽中里駅の「駅ナカにぎわい空間」で駅舎漬物まつりを開催しました。大沢内駅舎ではじまったこのまつりは、10回目となりました。

開会式では、主催者を代表して佐藤イネ子さん(薄市下)が「この地域を少しでも元気づけたいと始めました。今年の漬物もとても美味しいのでぜひ食べてください。最後まで楽しんでってください」とあいさつしました。

漬物まつりでは、実演を通じて美味しい作り方を紹介しています。今回は、漬物名人の「ゆず大根の即席漬」の作り方を実演しました。来場者たちは、名人の技を学ぼうと説明を聴いたり、メモを取っていました。

また、会場では、つきたてもちの振る舞いや漬物、野菜などが販売され、地元住民や津軽鉄道の利用者などが楽しみました。

